

第253回研究科委員会・第363回教員会議 議事要録

日 時：令和6年1月10日（水） 研究科委員会 12:50～13:03 / 教員会議 13:30～15:00

場 所：後援募金記念棟 会議室 1-3

議 題

◆研究科委員会◆

冒頭、研究科長から能登半島地震の安否確認について報告があった。実家が石川県・富山県・新潟県方面にある学生に大学が調査を行った。今のところ、人的被害は確認されていない。ただし、連絡がつきにくいところがあるかもしれないので、被害情報等があれば研究科長に連絡してほしい。

[報告事項]

1. 研究科長

(1) 産総研福島再生可能エネルギー研究所（FREA）との連携大学院について
資料1に基づき説明があった。これまでに結ばれている協定書の紹介があり、昨年8月以降の連携大学院の検討状況について説明があった。概算要求での水素エネルギー総合研究所の採択決定後、FREA と話し合いを進めてきた。教務委員会にも連携大学院に関しての検討をお願いしている。具体的には次回以降の研究科委員会で報告したい。

2. 教務委員会

(1) 令和5年度博士前期課程最終試験日程について
資料2に基づき説明があった。今年度はM2の人数が多いので、2月15日と16日の2日間にわたり行われる。名前等にミスがないかどうか、確認をお願いしたい。

(2) 令和5年度博士後期課程最終試験日程について
資料3に基づき説明があった。2月16日の午後1時から2名の最終試験が実施される。

3. 学生生活委員会

(1) 3月卒業・修了学生の表彰の推薦について
資料4に基づき説明があった。すでに受付期間が始まっており、受付締切は2月1日までとなっている。「優れた研究業績」については選考基準が定められたので、資料の①、②を参照していただきたい。

(2) 日本学生支援機構奨学金の大学院第一種奨学金返還免除について
資料はなく、口頭で説明があった。募集の掲示をLCに掲載するので、関係する院生に周知をお願いしたい。

4. その他

研究科委員会の最後に、研究科長から、研究科委員会・教員会議でのプロジェクター投影をやめる方向で検討しているとの発言があった。フロアからはとくに意見は出なかった。次回からは、各自 PC 等を持参してほしいとの依頼があった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の任用について

1) 教員資格調査委員会からの調査結果の報告について

冒頭、学類長から水素エネルギー総合研究所・所長（教授）の選考について、これまでの経緯の概要紹介があった。回収資料に基づき、資格調査委員長から説明があった。今回は招聘人事であり、その点についても詳細な説明があった。本日の定例記者会見で本研究所について公表したとの付言があった。教員資格調査委員会の報告に関して質問や意見等は出されなかったため、回収資料（履歴書）が配布され、委員長から履歴等の説明があった。履歴等についても、質問等は出されなかった。

2) 採用候補者の決定について（投票）

2/3以上の出席人数の確認後、無記名による投票が行われた。投票の結果は、賛成39票、反対2票、白票0票であり、水素エネルギー総合研究所・所長（教授）として採用することが決定した。

(2) 評議員の選出について（選挙）

学類長から、選挙方法等について説明があった。また、評議員候補者の推薦はなかったことが報告された。投票用紙が配布され、投票が実施された。投票の結果、得票が 29 票、26 票、5 票、3 票、3 票となったことが報告され、教授 2 名が評議員に選出された。

2. 教務委員会

(1) 教員免許状取得履修基準の科目区分変更について

資料 5 に基づき説明があった。基本的にはカテゴリーが変更になっただけで、内容は実質的に変わらない。現行の学生の学修案内は修正しないとの付言があった。とくに質問等は出されず、提案通り承認された。

(2) 編入学者に関する取扱要領の一部改正について

資料 6 に基づき説明があった。既修得単位認定の上限を、70 単位から 80 単位に変更したい。近隣の国立大学では、80～90 単位のところがあるとの付言があった。80 単位を認定すれば、編入学者は 5 科目 10 単位を取得すれば研究室配属要件を満たすことができる。とくに質問等は出されず、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和 7 年度の教員免許について

プロジェクター投影により、技術と工業を廃止する件について説明があった。福島県教育長と教育・学生担当副学長・事務局長との面談に合わせて、本学類から資料を提出した。理科や数学に対して、技術と工業の免許取得者は極めて少ない。R7年度から廃止する方向について県教育長から異論は出されなかった。今後、R7年度から技術と工業の教員免許を廃止する方向で動いていくとの報告があった。

2. 教務委員会

(1) 学生の退学について

プロジェクター投影により、1名の学生（物質科学コース3年生、研究室未配属）の退学について報告があった。

(2) 令和 6 年度 3 年次編入合格者のコース希望届について

プロジェクター投影により、3名の 3 年次編入合格者の希望コースについて報告があった。教授からコース希望確認の発言があり、数学教員免許取得希望の 1 名の学生からは納得が得られたとの報告があった。

3. 基盤教育委員会

(1) 全学外国語教育カリキュラム案について (中間報告)

資料7に基づき説明があり、外国語科目を2単位化することについて意見聴取の依頼があった。意見は1月31日までに委員にメールで出してほしい。教授から、単位の問題だけでなく、内容について変更があるのかとの質問があった。委員から受講人数が問題となっているとの返答があった。教授から、内容を変えるのであればよいが、現行の英語教育の内容には問題があると認識しているとの発言があり、今まで通りの内容であれば2単位化して授業数を減らすことに賛成であるとの付言があった。教授から語学教員のモチベーションについても付言があり、教員の専門とは違う内容のため語学教員はモチベーションが上がらないのではとの指摘があった。また、過去に語学教員が反対したことについても付言があった。委員から、基盤教育カリキュラムWGには語学の教員が多く入っているとの付言があった。さらに、今回は同WGから食農と理工への検討依頼であるとの説明があり、今後WGでさらに検討を進めていくとの説明が委員からあった。学類長から、理工教員からの意見を踏まえて委員と執行部で相談させていただきたいとの発言があった。

4. 学生生活委員会

(1) 3月卒業・修了学生の表彰の推薦について

資料4については、研究科委員会で説明済みのため省略。

(2) 成績不振者調査の報告について

資料8に基づき説明があった。今年度の不振者は76名であった。今年度から不振学生の基準が少し変更となった。基本的な傾向は昨年度と変わっていない。今後の対処方法についても昨年度と同様の傾向であり、学生総合相談室との連携が重要であるとの指摘があった。

5. 奨学寄附金の受入について

奨学寄附金1件のみとの報告があった。

◆教育研究評議会◆

○第408回(12月19日開催)報告

(1)【報告】令和4年度教員評価の実施結果について <資料1>

(2)【報告】就業規則の一部改正について <資料2>

(3)【報告】学士課程改革の進捗状況について <資料3> 一部非公開

(4) その他情報共有等 <資料なし>

教員会議終了時に、学類長から改めて教員会議でのプロジェクター投影をなくすとの発言があり、2月の会議から、PC等を持参してほしいとの依頼があった。さらに、水素研の客員教員の申請については、水素研関係であることを明記してほしいとの付言があった。

以上